



「甘夏オーナーズ倶楽部」って何？

放置されたミカン農園の維持再生を目指すNPO法人ビーグッドカフェの「オレンジプロジェクト」。その試みの一つとして「甘夏オーナーズ制度」が始まりました。神奈川県小田原市はミカンの産地で昔から有名でしたが、農家の方々の高齢化や経済性から耕作放棄が進んでいます。自分たちで「天空園」と名づけた活動のベースは、ピクニック気分を通えるコミュニティ果樹園です。

「天空園」ってどんなところ？

相模湾を一望できる小田原市江之浦の段々畑に広がる甘夏の農園です。2009年に耕作が出来なくなった果樹園を借り、オーナー制度は2011年から始まりました。オーナーになると1本の木から甘夏は約60kgが収穫できます。(個数にして約200~300個です)農薬は使用せず、有機肥料を使用しているので皮までおいしく味わうことができます。会員はいつでも来園OK。マイペースで土いじり、空と海が広がる素敵な景色や自然を満喫できます。



「天空園」ではどんな活動をしているの？

新しくレモン苗木を植えたり、ハーブやベリーの畑を作ったり、アイデアを出し合って農園を再生する活動をしています。

活動は農園を飛び出し、知り合いのお店で甘夏入りの商品を作ってもらったり、近隣NPOと組んで地域体験イベント実施など、会員のやりたいことが実現してます。アースデイ東京、エコプロダクツ展などの環境イベントに出展して甘夏と江之浦のPRや福祉施設とコラボした社会貢献に取り組んでいます。

「甘夏オーナーズ倶楽部」 会員募集中！



青い海と空が望めるコミュニティ果樹園

